

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

学校教育施設等の整備について

はじめに、学校教育施設等の整備について申し上げます。

老朽化している学校のトイレ改修につきましては、学校施設整備計画に位置づけ順次実施しているところですが、平成29年度に計画していた、恵み野小学校、恵み野旭小学校、柏陽中学校に係る「学校施設環境改善交付金」の前倒しの要望を行っていたところ、この度内定の通知があったところです。

事業の実施は平成29年度となる見込みですが、平成28年度に予算化することとして、別途補正予算案を提案いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。

アスベスト含有煙突用断熱材について

次に、教育委員会所管施設の煙突用断熱材のアスベストについて申し上げます。

恵庭市において、アスベストを含む建材が使われた可能性がある学校関係施設は、小学校5校、中学校4校と小学校給食センターで、対象の煙突は16本となっております。札幌市における一連の報道を受け、職員による緊急の目視点検を行いました。明らかかな剥離は見られなかったところです。また、専門業者による建材の成分分析を実施したところ、16本の煙突のうち14本でアスベストを含む建材が使用されておりました。しかしながら、成分分析と平行して校内、校外の大気分析を行ったところ、有害となるアスベスト繊維数の基準値が1リットル当たり10本に対し、最大で0.7本となっており、飛散の恐れが無く、安全であることが確認されました。

また、市民会館等のその他の施設については、アスベストを含む建材が使われた可能性がある施設が8施設、煙突は8本ありますが、職員による目視点検では、異常は発見されなかったところです。

	<p>今後は、定期的な目視点検を実施しつつ、対象となる煙突の計画的な改修を実施し、アスベストを含む建材の除去を進めて参ります。</p>
<p>全国学力・学習状況調査結果の公表について</p>	<p>次に、全国学力・学習状況調査結果の公表について申し上げます。</p> <p>文部科学省による平成28年度の全国学力・学習状況調査は、9月に全国の結果について発表があり、その集計結果について文部科学省より通知があったところです。</p> <p>恵庭市においては、集計結果を分析し公表に向けて現在作業を進めております。</p> <p>また、昨年同様、北海道の結果報告書において各市町村別の公表については市町村の同意を得て公表することとしており、恵庭市においては、実数は公表しない条件で了承したところです。</p>
<p>学校図書館について</p>	<p>次に、学校図書館について申し上げます。</p> <p>このたび、文部科学省が行った平成28年度学校図書館の現状に関する調査において、本市のすべての小・中学校が国の示す学校図書館図書標準を達成しており、目標冊数を達成したのは、道内35市では恵庭市のみという結果が公表されました。</p> <p>今後も、学校図書館の整備に継続して取り組み、児童・生徒の読書活動、学習活動を支援して参ります。</p>
<p>通学路の安全確保について</p>	<p>次に、通学路の安全確保について申し上げます。</p> <p>昨年10月に策定いたしました恵庭市通学路交通安全プログラムに基づき、道路管理者や警察などで構成する恵庭市通学路安全推進会議と連携して、10月5日、6日の2日間、危険箇所の合同点検を実施しました。</p> <p>点検結果を踏まえて担当部局と今後の対応策について協議しており、年内には学校へ報告することとしております。</p>

今後も関係機関と連携して児童・生徒が安全に通学できるよう通学路の安全確保に努めて参ります。

文化功労者等表彰について

次に、文化功労者等表彰について申し上げます。

本年度の文化功労者・青少年表彰につきましては、11月3日に市民会館においてスポーツ功労者も含めた合同表彰式を実施し、文化功労者に2個人、青少年表彰に4個人・2団体の方々を顕彰させていただきました。

北海道ユネスコ大会 in 恵庭について

次に、「第50回北海道ユネスコ大会 in 恵庭兼2016年度北海道ブロック・ユネスコ活動研究会」について申し上げます。

北海道ユネスコ連絡協議会並びに日本ユネスコ協会連盟主催で、10月8日・9日に市民会館において「つながり広げよう！希望の未来と世界の平和」をテーマとして開催されました。

全道各地から約130名のユネスコ関係者が集い、フォーラムやグループ・セッションなど熱心に研究協議が行われたところがあります。

長寿大学開学40周年記念事業について

次に、長寿大学開学40周年記念事業について申し上げます。

恵庭市長寿大学は昭和51年7月に開校し、本年40周年の節目を迎えたことから、11月17日に関係者約250名が参加し、記念式典、基調講演などを行なったところであります。

今後も、生涯学習社会にふさわしい学習機会を提供し、高齢者が生きがいを見つけ、市民活動に積極的に参加し、健康で明るい生活を送ることができるよう目指して参ります。

青少年健全育成事業について

次に、青少年健全育成事業について申し上げます。

11月の秋の恵庭市青少年育成強調月間に、恵庭市青少年育成市民の会では、市民啓発のチラシを配布するとともに、11月26日に「未来へ響け！若者たちのメッセージ」をメインテーマ

に「恵庭市青少年育成市民のつどい」を開催いたしました。

姉妹都市ティマル市へ派遣した中学生・高校生の報告、中学生生活体験発表、加盟団体等によるアトラクション及び活動発表等を行い、若者たちの意見や考えに耳を傾け理解を深め、地域における青少年育成活動の一層の推進を図ったところであります。

図書館事業について

次に、図書館事業について申し上げます。

10月の読書活動推進月間におきましては、市民との協働により、「本のリサイクル市」、「図書館まつり」、「大人のための朗読会」を開催し、多くの市民の方々に参加いただいたところであります。

また、6月に実施した不明本調査では、前年より30冊少ない173冊となりました。今後も、蔵書の保存管理に努めて参りたいと考えております。

なお、不明本については図書館に掲示し、市民の皆様にも周知を図って参ります。

図書館の指定管理者制度について

次に、図書館の指定管理者制度について申し上げます。

図書館の指定管理者制度導入につきましては、10月14日開催の教育委員会で承認され、10月25日から11月24日までの期間で指定管理者の募集受付を行ったところであります。

12月に恵庭市指定管理者候補選定委員会で審査・決定し、その後議会に指定管理者の指定及び債務負担行為の議案を提案する予定であります。

郷土資料館事業について

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

10月23日には、新ひだか町の遺跡等を見学する「遺跡見学会」を開催し、37名の参加をいただきました。

10月24日から30日までの間、本年、旧恵庭浄水場に移転した埋蔵文化財整理室において「カリンバ遺跡重要文化財展」及

び「市内遺跡ミニ展示」を開催し、カリンバ遺跡の出土品をはじめ、島松沢8遺跡・島松 B チャン跡から出土した縄文時代の環壕の土層などを公開したところであります。

11月13日には、北海道文教大学を会場にカリンバ講演会を開催し、「クマ祭り～恵庭イザリ川からピレネー山脈まで」をテーマに、元北海道大学教授 天野哲也氏からご講演をいただきました。

なお、昨年と今年の2か年に亘る郷土資料館の常設展示室改修工事のため、12月の一ヶ月間を休館とし、来年1月から開館する予定としております。

以上、はなはだ簡単ではありますが第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。